

# 持続可能な開発目標(SDGs)

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



令和6年5月  
外務省 国際協力局 地球規模課題総括課

# 持続可能な開発目標(SDGs)

- 2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標。(その下に、169のターゲット、231の指標が決められている。)



- 普遍性** 先進国を含め、全ての国が行動
- 包摂性** 人間の安全保障の理念を反映し「誰一人取り残さない」
- 参画型** 全てのステークホルダーが役割を
- 統合性** 社会・経済・環境に統合的に取り組む
- 透明性** 定期的にフォローアップ

## 前身:ミレニアム開発目標(Millennium Development Goals: MDGs)

- 2001年に国連で専門家間の議論を経て策定。2000年に採択された「国連ミレニアム宣言」と、1990年代の主要な国際会議で採択された国際開発目標を統合したものの。
- 開発途上国向けの開発目標として、2015年を期限とする8つの目標を設定。(①貧困・飢餓、②初等教育、③女性、④乳幼児、⑤妊産婦、⑥疾病、⑦環境、⑧連帯)
  - ✓ MDGsは一定の成果を達成。一方で、未達成の課題も残された。
    - 極度の貧困半減(目標①)やHIV・マラリア対策(同⑥)等を達成。
    - × 乳幼児や妊産婦の死亡率削減(同④、⑤)は未達成。サブサハラアフリカ等で達成に遅れ。

# 日本国内のSDGs推進体制

2016年5月  
SDGs推進本部の設置

総理を本部長、官房長官・外務大臣を副本部長、全閣僚を構成員とする司令塔。

2016年9月  
SDGs推進円卓会議の設置

行政、民間企業、有識者、NGO等、  
広範な関係者による意見交換の場。

2016年12月  
実施指針の策定

中長期的な国家戦略。

2019年9月  
SDGサミット開催①

安倍総理がスピーチを実施。

2019年12月  
実施指針の改定①

2023年9月  
SDGサミット開催②

岸田総理がスピーチを実施。

2023年12月  
実施指針の改定②



# 我が国のSDGs実施指針(改定のポイント①)

## 1 改定の趣旨

- 人々の意識・生活様式から産業構造、金融の流れに至るまで、我が国を含む国際社会全体の社会・経済活動のあり方が大きく変容。
- 国際社会全体が様々な複合的危機に直面し、SDGs達成に向けた進捗は大きな困難に直面。しかし2030年までにSDGs達成を目指すとの大きな方向性は変化なし。
- 人口減少や少子高齢化が進む中、我が国自身の持続可能な発展と繁栄の観点から、①SDGs達成に向けた取組を強化・加速し、また、②国際社会にさらに貢献していく必要。
- 国家に加え、多様なステークホルダー(とりわけ若い世代)の参画が重要。

## 2 現在の状況

### (1)国内

- SDGsの理念は我が国が持続可能な発展と繁栄を実現していく上で確固たる原動力。
  - 国家レベル:SDGsと「新しい資本主義」との連携。
  - 地方レベル:SDGsは地方創生の旗印。地方での浸透は日本の大きな特徴。
  - ビジネス:事業を通じてSDGs実現との方向性はますます明確化。
  - 市民社会を含む民間:広範なステークホルダーの間で取組の広がり。
- 各目標について様々な課題も指摘(貧困、ジェンダー、人権など)。

### (2)国際社会

- SDGs達成に向けた進捗に大きな困難。特に開発途上国において厳しい状況。SDGsの達成度合いや優先順位は各国ごとに大きな差異。特に資金や債務の問題。
- 各国それぞれの事情に応じ、先進国と開発途上国を含む各国の課題を統合的に解決し、国際社会が全体として包括的にSDGsを進める取組が必要。

# 我が国のSDGs実施指針(改定のポイント②)

## 3 実施に当たっての指針

### (1)重点事項

#### ① 持続的な経済・社会システムの構築

「新しい資本主義」の下、持続的な成長と安心・幸せを実感できる経済社会構造を構築(人への投資、GX・DXの推進、インパクト投資、地方創生SDGs、デジタル田園都市国家構想等)。

#### ② 「誰一人取り残さない」包摂社会の実現

多様性が尊重され、すべての人が力を発揮できる包摂的な社会を実現する(こども大綱、女性登用加速化、共生・共助社会、孤独・孤立対策、「ビジネスと人権」等)。

#### ③ 地球規模課題への取組強化

気候変動、生物多様性の損失及び汚染への取組及びグローバル・ヘルスの推進(ネット・ゼロ、ネイチャーポジティブ、地域循環共生圏、防災・減災、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)等)。

#### ④ 国際社会との連携・協働

国際社会全体で包括的にSDGsを達成するための貢献強化(新しい開発協力大綱、仙台防災枠組、女性・平和・安全保障(WPS)に関する行動計画等)。

#### ⑤ 平和の持続と持続可能な開発の一体的推進

平和で安定した国際環境は国際社会の持続可能性の前提。人間の安全保障の理念の下、人道・開発・平和の連携(ネクサス)に留意しつつ、「人間の尊厳」を中心に置いた開発協力を推進。

### (2)実施に当たっての取組

●実施体制の強化・ステークホルダー間の連携

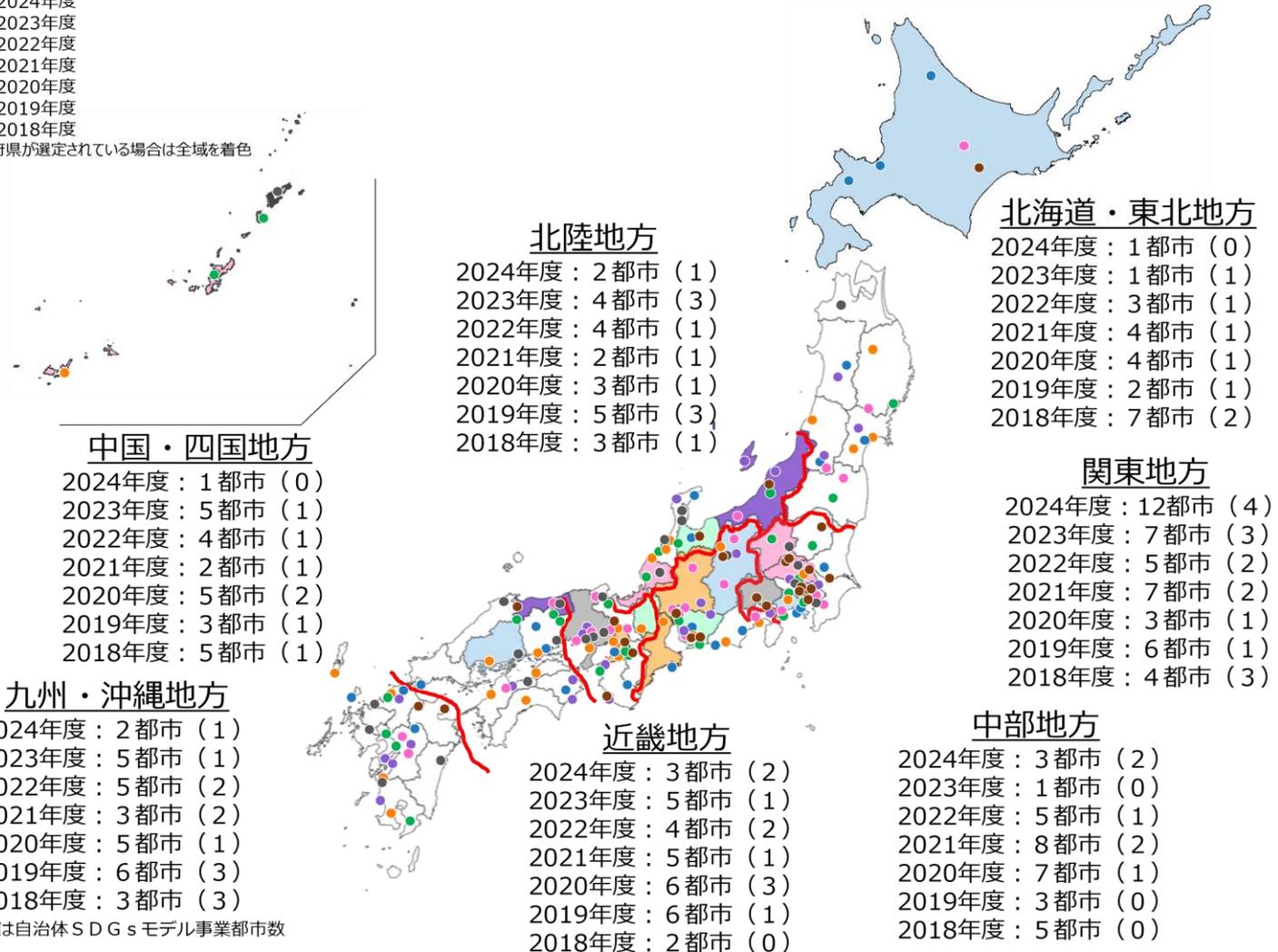
●自発的な国家レビューと国際社会における取組の主導(2030年以降も見据えた国際的な議論も主導)

# SDGs未来都市

- ▶ 自治体によるSDGsの達成に向けた取組を公募し、優れた取組を提案する都市を「**SDGs未来都市**」として選定、自治体SDGs推進関係省庁タスクフォースにより強力に支援。
- ▶ その中で先導的取組を行う都市を「**自治体SDGsモデル事業**」に選定し、資金的に支援。
- ▶ 成功事例の普及展開等を通じ、自治体におけるSDGsの達成に向けた取組の拡大を目指す。

茶色：2024年度  
灰色：2023年度  
紫色：2022年度  
桃色：2021年度  
橙色：2020年度  
緑色：2019年度  
青色：2018年度

※都道府県が選定されている場合は全域を着色



※ ( ) 内は自治体SDGsモデル事業都市数

# SDGs未来都市等選定都市一覽

2018年選定 (全29都市)		2019年選定 (全31都市)		2020年選定 (全33都市)		2021年選定 (全31都市)		2022年選定 (全30都市)		2023年選定 (全28都市)		2024年選定 (全24都市)			
都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名		
北海道	★北海道	岩手県	陸前高田市	岩手県	岩手町	北海道	上士幌町	宮城県	大崎市	青森県	弘前市	北海道	本別町		
	札幌市	福島県	郡山市	宮城県	仙台市	岩手県	一関市	秋田県	大仙市	群馬県	桐生市	茨城県	古河市		
	二セコ町	茨城県	宇都宮市	山形県	石巻市	山形県	米沢市	山形県	長井市	埼玉県	鴻巣市	茨城県	阿見町		
	下川町	群馬県	みなかみ町	山形県	鶴岡市	福島県	福島市	埼玉県	戸田市	埼玉県	深谷市	栃木県	那須塩原市		
宮城県	東松島市	埼玉県	さいたま市	埼玉県	春日部市	茨城県	境町	千葉県	入間市	千葉県	木更津市	群馬県	伊勢崎市		
秋田県	仙北市	東京都	日野市	東京都	豊島区	群馬県	★群馬県	東京都	松戸市	東京都	大田区	群馬県	みどり市		
山形県	飯豊町	神奈川県	川崎市	神奈川県	相模原市	埼玉県	★埼玉県	東京都	板橋区	東京都	東村山市	埼玉県	川口市		
茨城県	つくば市	神奈川県	小田原市	神奈川県	金沢市	千葉県	市原市	東京都	足立区	富山県	氷見市	埼玉県	草加市		
神奈川県	★神奈川県	新潟県	見附市	石川県	加賀市	東京都	墨田区	新潟県	★新潟県	石川県	七尾市	東京都	品川区		
	横浜市	富山県	★富山県	長野県	能美市	神奈川県	江戸川区		新潟県	新潟市	石川県		野々市市	東京都	品川区
	鎌倉市	富山県	南砺市	岐阜県	大町市	神奈川県	松田町		新潟県	佐渡市	福井県		大野市	東京都	清瀬市
富山県	富山市	石川県	小松市	岐阜県	★岐阜県	新潟県	妙高市	石川県	輪島市	山梨県	★山梨県	新潟県	燕市		
石川県	珠洲市	福井県	鯖江市	静岡県	富士市	福井県	★福井県	長野県	上田市	長野県	松本市	富山県	滑川市		
	白山市	愛知県	★愛知県	静岡県	掛川市	長野県	長野市		岐阜県	根羽村	京都府	宮津市	山梨県	甲府市	
長野県	★長野県	愛知県	名古屋	愛知県	岡崎市	長野県	伊那市	岐阜県	恵那市	兵庫県	★兵庫県	山梨県	富士吉田市		
静岡県	静岡市	滋賀県	★滋賀県	三重県	★三重県	岐阜県	岐阜市	静岡県	御殿場市		鳥取県	加古川市	長野県	安曇野市	
	浜松市	京都府	舞鶴市	滋賀県	いなべ市	岐阜県	高山市	愛知県	安城市		鳥取県	三木市	愛知県	江南市	
愛知県	豊田市	奈良県	生駒市	京都府	亀岡市	静岡県	富士宮市	大阪府	阪南市	兵庫県	三田市	大阪府	枚方市		
三重県	志摩市	奈良県	三郷町	大阪府	★大阪府・大阪市	静岡県	小牧市	兵庫県	加西市	和歌山県	多可町	鳥取県	松江市	奈良県	天理市
大阪府	堺市		広陵町		豊中市	愛知県	知立市	和歌山県	田辺市		鳥取県	★鳥取県	岡山県	備前市	和歌山県
奈良県	十津川村	和歌山県	和歌山市		兵庫県	明石市	京都府	京都市	鳥取県	徳島市	鳥取県	★鳥取県	広島県	福山市	鳥取県
岡山県	岡山市	鳥取県	智頭町	岡山県	倉敷市	大阪府	京丹後市	徳島県	美波町	愛媛県	新居浜市	福岡県	四国中央市	福岡県	吉富町
	真庭市		日南町	岡山県	西粟倉村	岡山県	倉敷市	大阪府	能勢町		福岡県	直方市	福岡県	糸島市	大分県
広島県	★広島県	岡山県	大牟田市	広島県	東広島市	兵庫県	姫路市	愛媛県	徳島市	福岡県	延岡市	鹿児島県	出水市		
山口県	宇部市	福岡県	福津市	香川県	三豊市	鳥取県	西脇市	福岡県	美波町	熊本県	八代市			鹿児島県	奄美市
徳島県	上勝町	熊本県	熊本市	愛媛県	松山市	愛媛県	鳥取市	熊本県	福岡県	南阿蘇村	上天草市	鹿児島県	薩摩川内市		
福岡県	北九州市		福岡県	宗像市	高知県	土佐町	愛媛県		西条市	熊本県	南阿蘇村			上天草市	
長崎県	壱岐市	鹿児島県	徳之島町	福岡県	宗像市	熊本県	菊池市	沖縄県	鹿児島県	薩摩川内市	鹿兒島県	薩摩川内市			
熊本県	小国町	沖縄県	恩納村	長崎県	対馬市	熊本県	山都町		鹿兒島県	鹿兒島市	鹿兒島県	鹿兒島市	鹿兒島県	鹿兒島市	
				熊本県	水俣市	鹿兒島県	石垣市								
				沖縄県	石垣市										

## 累計

SDGs未来都市 206都市(207自治体)  
自治体SDGsモデル事業 70都市

※各年度都道府県・市区町村コード順  
※黄色網掛けは「自治体SDGsモデル事業」選定自治体  
(新潟県佐渡市の「自治体SDGsモデル事業」選定は2023年度)  
(鹿児島県奄美市の「自治体SDGsモデル事業」選定は2024年度)  
※★はSDGs未来都市のうち都道府県